

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」総括表

法人名	株式会社 キ タカワ	代表者	北川 博康	法人・事業所の特徴	『生活の継続性の尊重』、『残存能力の活用』、『自己決定の尊重』の三つの理念を共有し、利用者本位の視点を大切にしたいきめ細やかな支援に努めている。同一建屋内に併設する居宅介護支援事業所やデイサービスセンターとは、合同で納涼祭や敬老会、運動会、餅つき等を開催し、地域の方々との交流を深める場にもなっている。又、隣接する特別養護老人ホームとは行事だけではなく、避難訓練や災害時の避難場所としても協力体制を整えている。 食事面では、栄養士による栄養管理の行き届いたバランスの良い食事を3食共に提供出来るだけではなく、毎月一回のグルメランチでは、ご当地の有名な食べ物が再現され好評を得ている。
事業所名	小規模多機能ホーム あゆ美	管理者	竹中 未喜江		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
		0人	1人	2人	1人	1人	1人	1人	2人	0人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員それぞれが自己評価を意識し、達成できなかった項目への取組みを行う。	自分一人で抱え込まず、職員間で話し合い相談しながら切磋琢磨して取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務が忙しいと思うがそのような中で委員会や会議の開催などは大変だったと思う。 書類や研修が増えることで利用者との関わりが減るのではないかと心配している。 	委員会や勉強会など紙面上での活動だけでなく実践的な活動も積極的に行っていきたい。

B. 事業所の しつらえ・環境	清潔で安心できる空間という評価が損なわれないよう引き続き環境作りに取り組む。	毎日の清掃に気を付けている。玄関先には季節の花を植え、利用者とともに世話をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・時々訪れるが、施設はいつも清潔で季節を感じる花や利用者の作品が飾ってあり、微笑ましく拝見している。 ・換気の為もあるだろうが施錠せず、玄関が開け放たれていることがあり開放的でよいと感じる。中の様子も垣間見ることができる。 	季節感を演出する天井や壁面の飾りつけは今後も継続する。また感染予防対策は居心地の悪さを感じないように工夫しながら継続していきたい。
C. 事業所と地域のか かわり	地域行事への参加と『あゆ美だより』のポスティングは続けていきたい。	あゆ美だよりはポスティングだけではなく近隣の医院や商店にも配布させていただいている。配布の際スタッフや近隣住民と交流し、施設の活動をお伝えしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・餅つきやボランティアの来訪などの際訪問させていただいている。また、地域行事である川祭りにはあゆ美さんからも参加があり、地域との関わりや地域参加という面では十分な役割を果たされている。 ・あゆ美だよりは毎月楽しみにしている。職員の工夫が見て取れる。 	これからも積極的に地域行事への参加を続けていきたい。もちろん、『あゆ美だより』の発行も継続していく。
D. 地域に出向いて本 人の暮らしを支え る取組み	SNS を活用するなど情報収集を充分に行い、積極的に地域へ出向いていきたい。	外出は準備と下見を充分に行わなければならない。SNS の発達により利用者からは気軽に外出の提案があるが移動距離や準備の煩雑さから断念することも多かった。遠足や散歩などは日常的に行うことができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS やドローンカメラにより山頂や海岸壁などがいとも簡単に拝見できてしまう。視聴することと現地へ赴くことのギャップを説明することも大変そうだ。 ・地域住民としては、散歩などで出会うと交流ができてうれしく思う。 	ふれあい給食や川祭りなどの催しには積極的に参加している。これからは本人だけでなく遠方の子供たちにも催しの開催を知らせるなどし、帰省のきっかけになるような働きかけをしたい。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	運営推進会議がより良い情報交換の場となるよう具体的に付加価値を持たせていきたい（試食会の開催やBCPに関する相談など）。	情報交換の場としては大いに役立っている。付加価値により時間延長となるよりは書面上での確認のみにするなど時間短縮に重点を置いてほしいとの	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告や委員会活動の報告を毎回楽しみに聞いている。 ・コロナ禍以降、少人数での開催回があるが、それでよいと思う。 	運営推進会議を通し、地域に根付く施設としてどのように地域と協働できるかを常に考えていきたい。

		意見が多かった。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住んでいるので会議に参加できなくても何かあれば施設に駆けつけることができる。何でも言ってほしい。 	
F. 事業所の 防災・災害対策	職員に対しBCPの周知を徹底する。まずはハザードマップや備蓄品の確認が日常業務になるよう意識付ける。	BCPに具体性を持たせるため、想定される避難住民の人数を推定したりと机上の研修はなかなか興味深かった。しかしながら地域住民の方へのBCP周知は難しいと感じている。自治会長や民生委員にはBCPの説明は行った。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の防災対策とあゆ美のBCP、重なっているところもあれば、ずれが生じているところもある。長い目で見ながらみんなで手探りで毎年改善していきましよう。 ・住民ひとり一人に危機意識を持っていただくのは難しいと思う。地域役員の仕事が増えることも心配している（もちろん協力はします）。 	BCPの周知徹底はもちろんであるが、訓練や研修を特定の職員が中心になって行うのではなく全ての職員が主体となって行えるよう意識付けをしたい。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月24日(13:10 ~ 13:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	0人	0人	12人

前回の改善計画

- ・本人だけでなく家族や知人とも積極的に関わり、より多くの情報をいただけるよう努力する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・利用者や利用者を取り巻く方々と関わる時間を増やし、日々のことやその時々思いなど、情報の取りこぼしが無いよう努力した。いただいた情報を取捨し、有意義に活用したい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	7	5	0	0	12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	6	1	1	12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	9	3	0	0	12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	4	4	2	12

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・本人だけではなく家族とも積極的に関わりを持った。
- ・利用者やその家族との会話を深めるため新聞などを読み込むうちに自分自身の教養も深まったと思う。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・送迎時しか家族と関わる時間がない。送迎時も時間がないことが多く、ゆっくりと話す余裕がない。
- ・本人と家族の思いが違ふことが多く、本人主体と理解しつつも葛藤してしまう。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

- ・日勤日誌や申し送りノートを活用し、職員間の情報共有をしっかりと行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月24日 (13:10 ~ 13:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 5名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	5人	2人	0人	12人

前回の改善計画	・利用者の思いや願望をどうすれば具体的な形で実現できるのか意識しながら日々のケアに当たる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・利用者の「～したい」を意識しながらケアに当たることは難しいが、その時々利用者の言動を記録に残すことで後に振り替えることができる。改めて会議や申し送りの場でゆっくりと「～したい」の実現に対し話し合うことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	6	4	1	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	2	5	0	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	4	5	0	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	3	4	5	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・自分から発信できない利用者の思いや希望をいかにくみ取るか、日々模索し同僚と話し合っている。 ・花見や節分など季節の行事は利用者とともに計画し準備しており、楽しみの時間を共有している。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・身体的にできないことを「～したい」と言われても対応に困る。 ・金銭が絡むとできないこともある。外食に参加できない利用者もおられ、計画を立てた職員が葛藤している。 ・業務優先で利用者に寄り添えていないと感ずることがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・利用者の思いや願望は日々変化することも多い。利用者寄り添い、コミュニケーションを取ることで日々の細やかな変化に対応できるよう心掛ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月26日 (13:20 ~ 13:40)

3. 日常生活の支援

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	5人	0人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">・その時々の利用者の状態や環境を理解し、状況に応じた対応ができるよう職員の意識付けを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">・状況に応じた迅速な対応を心掛けてはいるが、事業所で出来ることできないことの確認などで時間を要してしまうことがあった。・常に『情報共有』と言う意識付けをしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄と		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	5	5	1	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	12	0	0	0	12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	3	8	1	0	12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	10	2	0	0	12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	11	0	2	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・食事の好みや得意なレクリエーションの把握など個別に様々な対応ができている。・体調の変化には特に速やかな対応が取れている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・家族間の葛藤や確執、地域性の問題など介護職員の範疇を超えていると感じる事例がある。・勤務形態が様々なのでどれだけ情報共有しても共有した情報にタイムラグが生じる。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
本人、家族とのコミュニケーションを大切にし、信頼関係を崩さない。職員間ではできるだけ速やかに情報共有を図る。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月26日 (13:20 ~ 13:40)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	3人	4人	0人	12人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源に関する情報を多く集め、それらの話題について利用者と共有しながら必要なケアや娯楽を提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSの発達により地域行事やイベントに関する情報は得やすくなったが準備にかかる時間が短縮になったわけではない。また事前申し込みが必要なイベントもあり、正確な情報収集の必要性を強く感じた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	4	4	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	6	3	3	0	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	4	6	2	0	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	2	7	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・日常的な外出が気楽でよい。散歩に出かけ、出かけた先の神社や公園などで地域住民と交流している。 ・毎月発行しているあゆ美だよりに掲載している行事の写真は好評である。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み締め切りが数か月前であったりと、当日の利用者の状況が予測できないため申し込みできなかったイベントがあった。 ・個別対応で各利用者の地域イベント（ふれあい給食など）に参加することは難しい。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>地域資源の把握、その活用方法などを研究し知識を深めていく。利用者だけでなく職員が住む地域の情報も参考として収集する。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和6年10月29日 (13:15 ~ 13:45)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7人	3人	2人	0人	12人

前回の改善計画	柔軟な対応は「なんでもできる」という意味ではないということを職員と利用者として共有する。利用者や家族からのハラスメントめいた言動に対し、職員全員が毅然とした態度で臨めるよう研修等を見直す。
前回の改善計画に対する取組み結果	・明確なハラスメントでないため対応が難しい事例もあった。また時代背景や年齢的、性格的なことで今の時代にはハラスメント認定されて済む事例もある。『柔軟な対応』の線引きが難しいと感じる。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	6	5	1	0	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	5	5	2	0	12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	10	2	0	0	12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	11	1	0	0	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・『柔軟な対応』が『何でもしてもらえる』わけではないことをきちんと理解していただけている。事業所が関わり初期や初回面談にてきちんと説明しているからだと思う。 ・利用者の状態や家族状況に合わせたケア、送迎時間の変更などは柔軟に対応できていると思う。 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・『柔軟な支援』が過剰な対応になっていないか心配している。柔軟な対応が必要でない利用者もおられるため、特定の利用者だけが特別扱いになっていないか疑問を感じることもある。 ・利用者や家族にハラスメントの説明をするだけで疲れてしまう。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のその時々々のニーズ、利用者や家族を取り巻く状況の変化に速やかに柔軟に対応する。 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月29日 (13:15 ~ 13:45)

6. 連携・協働

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	1人	5人	1人	12人

前回の改善計画	・運営推進会議やサービス担当者会議に何らかの形で職員が参加し、発言できる機会を作りたい。
前回の改善計画に対する取組み結果	・退院前カンファレンスなど必要に応じ管理者と看護師が参加したりしている。看護師は途中退出させていただいたりとできる限りの対応をしている。サマリーを事前にいただき、職員からの質問を用意したりと工夫している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	2	7	1	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	2	2	6	2	12
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	3	3	3	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	2	2	6	2	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・各サービス機関とは常に連絡を取り合っている。 ・訪問看護師が事業所での様子を見に来られたりと必要な連携は行われている。 ・ボランティアの来訪も年に数回であるが行っており、利用者からは好評である。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・一職員として会議に参加することは非常にハードルが高い。 ・外部の会議は管理者が施設代表で参加しているので職員が参加しなくてもよいと思う。地域イベントなら参加しても良い。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
・地域密着型施設の役割を意識し、運営推進会議やサービス担当者会議に何らかの形で職員が参加できるよう働きかけたい。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年10月29日(13:15～13:45)

7. 運営

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	3人	4人	3人	2人	12人

前回の改善計画	<p>・概ね2か月に一回行っている職員会議で(職員からの)「事業所の運営」に関する意見を積極的に引き出す場を提供する。意見は管理者を通し経営陣等に確実に届けるという仕組みを(試験的に)樹立する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・『運営』に対するイメージがつかみにくく、職員会議ではなかなか意見が出なかった。その後 毎回ではないが朝夕の申し送り時に代表取締役に参加してもらい直接意見のやり取りを行う機会を設けた。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	6	5	1	0	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	4	7	1	0	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	1	7	3	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	3	4	12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・利用者や家族からの意見や苦情があれば速やかに情報共有ができている。 ・意見が言いやすい職場であると思う。代表取締役に対しても意見が言いやすい。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・意見が言いやすかったり職員間で注意しやすかったりする職場ではあるが、その分公私の区別がついていないと感じる場面もある。 ・『事業所の在り方』というのが難しい。災害時などは避難所として役に立てるとは思うが。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>運営とは日々の業務の積み重ねで成り立っているものであるということを職員に意識付け、提案や意見等が積極的に発言できる職場を維持していきたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月9日 (13:10 ~ 13:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5人	4人	3人	1人	13人

前回の改善計画	<p>・外部研修を受講したのち、伝達研修を必ず行う。受講した職員が中心となり準備を進めることでその研修が個人のスキルアップだけではなく事業所全体のスキルアップにつながることを意識する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・自分が受けた研修を短縮して伝達するというのが思った以上に難しかった。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	7	4	2	0	13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	5	2	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	2	4	5	13
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	5	4	1	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ヒヤリハットや事故報告書は提出されたその日に情報共有し、改善策を話し合っている。 ・各委員会は定期的に開催されている。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・外部研修では理解したつもりでいたがその内容を他の職員に伝えようとするとうまくできなかった。 ・時間がなくスキルアップに対し意欲的になれない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・多くの職員が外部研修に参加できる体制を整え、職員の意欲や技術向上につなげたい。</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和6年11月9日 (13:10 ~ 13:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 6名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	11人	2人	0人	0人	13人

前回の改善計画	<p>・身体拘束防止や虐待防止に関する研修は継続して行う。さらに、成年後見人制度についての研修なども行い、必要時に速やかに対応できるよう職員全体のスキルアップを行う。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>・研修は必須であるため今後も継続していく。内容がパターン化しないよう工夫が必要である。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	13	0	0	0	13
②	虐待は行われていない	12	1	0	0	13
③	プライバシーが守られている	8	3	2	0	13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	10	3	0	0	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	11	2	0	0	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>・ホワイトボードの記載はイニシャル表記を徹底し、記録物の保管にも気を付けている。 ・守秘義務を常に意識している。</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>・スピーチロックが完全になくなったとは言えない。毎日反省している。 ・会議中や申し送り時には個人情報を意識した会話ができているが、普段は出来ていない。</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>・職員ひとり一人が利用者の人権やプライバシーについて意識したケアを行わなければならない。職員間での注意や助言、相談が円滑に行われる職場を目指す。</p>	